

市議会 9月 定例会

大館樹海ドーム 予約は好調

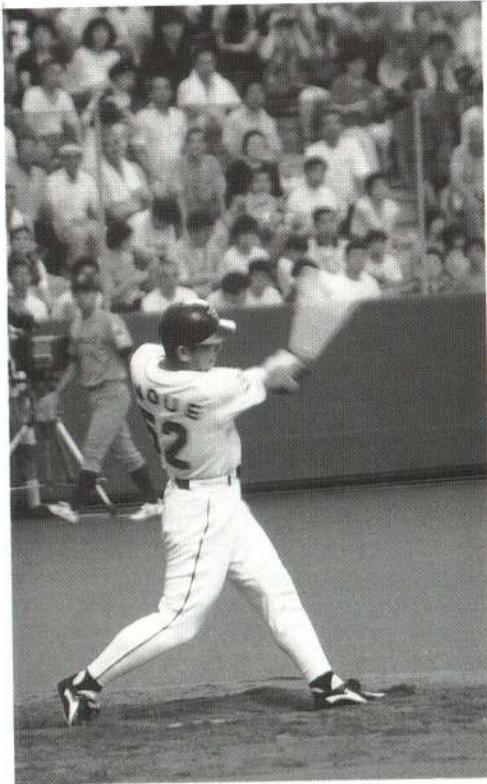
市議会九月定例会が八月二十六日に招集され、小畑市長が行政報告をしました。その中から、主なものの要旨をお伝えします。

大館樹海ドームの 予約状況

ドームは八月一日から一般の使用を開始しています。初日から活発なご利用をいただき、八月二十四日までの利用者は観客や見学者など二万人を超えています。

今後の予約についても大変好評で、野球、ソフトボール、運動会などスポーツを中心に十一月までの土曜日、日曜日、祝祭日はほぼ満杯の状況です。

なお、冬期間の申し込みはこれからということになりますが、本来、雪の影響を受けることなく大空間で活動できるといことが



ドームの最大のメリットです。今後は、テニス、サッカー、ゲートボールなどのコートラインを引くことも検討しています。市民の皆さんのご利用をお願いいたします。

申請書などの 押印廃止について

市では、行政改革の一環として、申請書などの押印廃止を、平成七年度から積極的に取り組んできました。その結果、市に対して申請する書類六百七種類のうち、法令などにより押印が義務付けられているものや補助金、税の減免など金銭に係るものを除く二百五種類について、可能なものから順次押印の廃止を実施しているところがあります。

また、国においても七月三日の事務次官会議の申し合わせにより、「押印見直しガイドライン」が策定され、八月末までに見直しを行い、作業終了後一年以内に具体的

な措置をとることになっています。市では、押印見直しを国に先行する形で実施してきましたが、今後、国の具体的な措置が動きだすことにより、現在法令などにより押印が必要になっている申請書などについてもかなりの数の押印が廃止できるものと考えています。

今後とも市民サービスの向上及び事務の効率化を図るよう努めてまいります。

大館能代空港建設工事

大館能代空港は、来年七月の開港に向けて工事が着々と進んでいるところと見られます。空港建設工事の本体部分については、七月末で九三%の進展となっています。管制塔を含めた航空局庁舎は八月中旬に完成し十月末からは運輸省によるフライトチェックが始まる予定です。また、滑走路、エプロンは九月中旬に完成する予定です。

旅客ターミナルビルの工事は、約四〇%の進展で、外観の特徴である建物中央のアーチ状の屋根部分の姿を現しています。この秋には三階部分の工事に入りますが、これまで天候に恵まれたこともあって順調に進み、工期前の来年四月中の完成を目指しています。